

奈良県地域医療構想 目次

第1章 奈良県地域医療構想とは	1
I 地域医療構想策定の経緯と目的	1
1. 策定の経緯	1
2. 策定の目的	1
3. 構想に定める事項	1
4. 目標年次	2
II 奈良県の地域医療の実情	3
1. 人口の減少と高齢化の進展	3
2. 医療費等の状況	5
第2章 奈良県地域医療構想の基本的視点	
I 医療需要の質と量に適合した効率的で質の高い医療提供体制の構築 ～急性期・回復期・リハビリ・療養・在宅までの一貫した体制をどう構築するのか～	9
II 地域包括ケアシステムと在宅医療の充実	10
III 予防医療と健康増進の取組の必要性	10
IV 医療従事者の働き方改革の必要性	10
V 社会保障制度改革への総合的な取組	11
第3章 医療需要の質と量に適合した効率的で質の高い医療提供体制の構築 ～急性期・回復期・リハビリ・療養・在宅までの一貫した体制をどう構築するのか～	12
I 奈良県の保健医療圏の現状と課題	12
II 構想区域の設定	26
III 県及び各構想区域の医療需要及び供給体制の現状と将来推計	27
1. 現在の医療需要	27
2. 将来の医療需要	34
3. 将来の医療需要に対する医療提供体制	39
IV 医療の内容に応じた弾力的な医療連携区域等の考え方	46
1. 時間的な緊急性の低い疾病に係る高度医療	46
2. 時間的な緊急性の高い疾病に係る急性期の医療	46
3. 日常的な疾病に係る医療	46
4. 主な疾病等の医療連携区域	47

V	病床機能報告制度とその活用	48
1.	病床機能報告制度とは	48
2.	病床機能報告に当たっての留意事項	48
3.	病床機能報告等を用いた高度急性期機能・急性期機能の数値化	49
VI	将来のあるべき医療提供体制を実現するための施策の展開	52
1.	病床機能の分化及び連携体制の推進	52
2.	医療従事者の確保・養成	53
第4章	主要疾病（4疾病3事業及び骨折・肺炎）についての医療提供体制の確保等	55
1.	がんの医療提供体制の確保	56
2.	脳卒中の医療提供体制の確保	61
3.	急性心筋梗塞の医療提供体制の確保	69
4.	糖尿病の医療提供体制の確保	74
5.	救急医療の医療提供体制の確保	78
6.	周産期医療の医療提供体制の確保	84
7.	小児救急医療の医療提供体制の確保	89
8.	骨折及び肺炎についての検討	93
第5章	地域包括ケアシステムと在宅医療の充実	95
I	地域包括ケアシステムと在宅医療	95
II	地域包括ケアシステムを支える在宅医療について	96
	～慢性期機能と在宅医療の医療提供体制の確保～	
1.	現在の医療需要と今後の医療需要予測について	96
2.	現在の医療提供の状況について	97
3.	在宅医療提供体制の構築について	101
4.	連携体制の推進について	102
5.	在宅医療提供体制構築に向けた方向性について	106
III	地域包括ケアシステムをどう充実させるのか	109
1.	地域包括ケア推進に向けた本県の取組	109
2.	地域包括ケアシステムの構築・充実に向けて	109
IV	将来のあるべき医療提供体制を実現するための施策の展開	111

第6章 予防医療と健康増進の取組	115
I なら健康長寿基本計画の策定	115
1. 運動、食生活、禁煙等の普及など健康的な生活習慣の普及	116
2. 高血圧、糖尿病等の早期発見による要介護原因となる疾病の減少	116
3. 介護予防や機能回復の取組による要介護とならないための地域の対応	116
4. がん、心臓病、精神疾患等の早期発見による早世原因となる疾病の減少	116
5. がん、脳卒中、急性心筋梗塞等の早世・疾病の重症化を防止する医療体制の充実	116
II 健康長寿日本一を目指した取組	117
III 予防医療と健康増進の取組の今後の方向性	120
IV 歯と口腔の健康づくりの推進	122
第7章 医療従事者の働き方をどう改革するのか	123
I 医療分野におけるワークマネジメントによる雇用の質の向上の必要性	123
II 奈良県の医療従事者数について	123
1. 医師の状況	123
2. 看護職員の状況	125
III 医療従事者の勤務の状況	127
1. 勤務医の労働時間等の状況	127
2. 看護職員の労働時間等の状況	129
IV ワークマネジメントによる働き方の改革に向けた取組	131
1. 医療従事者が働き続けられる職場づくり	131
2. 医療機関の勤務環境改善に対する支援	131
第8章 今後の進め方等	
I 地域医療構想の推進体制の構築	132
II 地域医療構想の見直し	132
III 県民・患者への医療に向き合う知識の普及	132
IV 医療安全の向上に向けた取組	133
【奈良県地域医療構想の策定の経緯】	134